



ござれ祭り



御坊町「五条大橋の出会い」



港町「白縫譚」



第二元組町
「大阪冬の陣 真田幸村、家康に迫る」



平尻町「騎龍弁財天」

毎年恒例の「ござれ祭り」が柳田植物公園で8月17日に開催され、町内外から約6,500人が訪れ真夏の祭典を楽しみました。

ステージではカラオケのど自慢大会やYOSAKOIソーラン20周年記念事業として、県内外の10団体によるよさこい演舞、eスポーツ体験会などイベントを大いに盛り上げました。

会場にはキリコ11基がずらりと並べられ、来場者をお出迎え。グルメメントも多く立ち並び、日差しが照りつける中お目当ての品を買い求める客で賑わいを見せました。

夜になるとイベントもクライマックスを迎え、レーザーファンタジアでは光と音が織りなす幻想的な空間が広がり、最後の花火では、音楽に合わせ大輪の花が、キリコの真上で打ち上がり夜空を鮮やかに彩りました。

メインゲスト松原のぶえさんの歌唱ステージ



姫の袖ギリコが会場に華をそえる



各団体の演舞が行われ、最後には全出演者による総踊りが披露された



松波人形キリコ祭り

松波神社の夏祭り、松波人形キリコ祭りが7月27日、行われ、迫力ある人形が飾られたキリコ9基が街中を練り歩きました。どのキリコも各町内で1カ月以上の時間をかけて作られた力作です。キリコは午後2時半ごろ内浦庁舎前交差点に集結し、投票審査によってその年の出来映えが評価されます。

審査の結果、第二元組町が1位に輝き、2位が平尻町、3位は同率で御坊町と港町が受賞しました。

祭りに見に訪れた人は、一つ一つの人形をカメラで撮影するなど、美しい作品の姿を楽しみました。



先月紹介した第30回日本伝統俳句協会賞受賞作品の一部を紹介します。

「能登の揚げ浜塩田」 宮下末子

東雲に七つ島置く初明り
塩田の砂の筋目の春日影
熱き砂搔く塩田の大西日
釜火守り二十三夜の月仰ぐ
閉ざされし釜屋へ浪の花絶えず

受賞作は、国の重要無形民俗文化財「能登の揚げ浜式製塩技術」継承者である角花さんの夜釜を秋に体験した事に始まり、毎月一度は必ず塩田の吟行を欠かさず、奥能登塩田村の炎天下での塩田作業および極暑の夜釜の体験をし、「潮汲み三年潮撒き十年」と言われる苦勞と伝統ある製塩技術を守りながら、渾身の力と汗だくの作業、夜通し寝ずに夜釜を守る、塩田人のご苦勞をこの身に受け止め、三十句にまとめたものです。



日本伝統俳句協会賞とは・・・

日本伝統俳句協会が年に一度全国から俳句作品を募集。俳句は、1人30句を一組として構成されており、応募作品の中から「協会賞」と「新人賞」を1作品ずつ選考する。

今回、県内では17年ぶり2人目として、真脇出身の宮下末子さんが「協会賞」を受賞しました。

新しい役場庁舎の内覧会を行います

役場新庁舎の建物部分が完成しました。
来年1月からの開庁に先立ち、町民の皆さまへの内覧会を実施します。新くなる役場庁舎をどうぞご覧ください。
※事前の申し込みはいりません。直接現地へお越しください。

実施期間 10月1日㊤～7日㊤ 午後1時～3時
※5日㊤のみ 午前10時～午後3時
場 所 役場新庁舎建設地（宇出津ト字 50 番地 1）
対 象 町内に在住若しくは勤務されている方
※15歳未満は保護者同伴をお願いします。
☎総務課庁舎建設室 ☎ 62-8550



10月1日から 年金生活者支援給付金制度が始まります

公的年金等の収入や所得額が一定基準額以下の、年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給される制度です。

受け取りには請求書の提出が必要です。ご案内や事務手続きは日本年金機構（年金事務所）が実施します。

詳しくは、下記へお問い合わせください。

給付金専用ダイヤル ☎ 0570-05-4092（ナビダイヤル）
七尾年金事務所 ☎ 0767-53-6511

対象となる方

- ①老齢基礎年金を受給している方
以下の要件をすべて満たしている必要があります。
・65歳以上である
・世帯全員が住民税非課税となっている
・年金収入額とその他所得額の合計が約88万円以下である
- ②障害基礎年金・遺族基礎年金を受給している方
以下の要件を満たしている必要があります。
・前年の所得額が約462万円以下である

総合防災訓練で防災について考えよう

災害発生時あなたはこうする！ 総合防災訓練で備えを再確認

日ごろの「備え」が大切

10月6日㊤地震による被害を想定した能登町総合防災訓練を実施します。

今年度の訓練会場は町内5か所です。当日は最寄りの会場に参加して身の回りの備えを再確認しましょう。

※メイン会場では、消防防災ヘリ、自衛隊活動車両の展示や炊き出し、能登消防署の訓練など普段見る機会のない訓練が行われますので、柳田地区以外の方も是非メイン会場へお越しください。

※車でご参加される方へ
メイン会場は駐車場がありません。会場までシャトルバスを運行いたしますので柳田体育館周辺の駐車場をご利用ください。

安否確認訓練



炊き出し訓練

訓練会場

メイン会場 柳田小学校
避難所訓練 柳田小学校、宇出津小学校、
鵜川小学校、松波小学校、小木小学校

訓練想定

令和元年10月6日、午前8時45分に能登半島北方沖地震発生が予知され緊急地震速報が発表された。
午前8時46分、能登半島北方沖を震源とするマグニチュード7・6（震度6強）の地震が発生し、能登町内の最大震度は6強を観測、震源から近い柳田地区では家屋の倒壊や土砂災害が発生した。また石川県能登津波予報区に津波注意報が発令された。

訓練スケジュール

10月6日㊤

8:45【開始 / 緊急地震速報】

サイレン・防災無線・メールなどで通知
各自、シェイクアウト訓練を行い、自分の身を守る訓練を行ってください。

8:50【避難指示 / 津波注意報】

防災無線・メールなどで通知
柳田小学校へ避難してください。※海岸部の方は津波緊急避難場所もしくは高台へ避難してください。

9:15【海岸部：避難所開設放送】

防災無線で通知
津波や土砂崩れにより被害が発生し、今後も被害拡大の恐れがあるという想定で、最寄りの避難会場に避難を開始してください。

【避難所での訓練】

- ・避難所開設
- ・運営訓練
- ・放水訓練
- ・安否確認訓練
- ・情報伝達訓練
- ・炊き出し訓練
- など

10:30【避難指示解除】 防災無線などで通知

大津波警報解除にともない、避難指示を解除。

11:30【訓練終了】 防災無線などで通知

※自主防災組織の訓練にも活用してください

山森そぎさん 大正8年7月生まれ 長寿100歳

白丸の山森そぎさんが100歳を迎え、誕生日の7月30日に町長から、長寿祝い状と花束を受け取りました。

俳句をつくるのが趣味で、好きな食べ物は麺類、刺身、果物という山森さんには、お子さんが3人、お孫さんが8人、ひ孫さんが7人います。

ご家族がそろったこの日を迎え、「たくさんの人にお祝いしていただいとてうれしい」と喜びの言葉を話しました。



ご家族そろってお祝いしました

県漁協小木支所でヒラメ稚魚放流 稚魚の成長願って海へ放流

7月30日、県漁協小木支所でヒラメの稚魚の放流があり、小木こども園の園児と学童保育の児童らが、体長10センチほどの稚魚5千匹を放流しました。園児たちはバケツに移された稚魚を、漁協の荷さばき所に設けられたスロープから「大きくなってね」と声をかけて、そっと放流しました。海に泳ぐ稚魚を見つけた園児は、歓声を上げたり、手を振ったりして旅立ちを見守りました。



「大きくなってね」と声をかけながら放流する児童たち



1年間ありがとう！
ザック先生（右）
サラ先生（左）

新たに着任した
トーマス先生（右）
セイカ先生（左）



ALT(外国語指導助手) 退任・新任辞令交付式 英語への親しみを子供達へ

7月25日、役場能都庁舎でALTの退任辞令交付式が行われ、ザック先生とサラ先生がそれぞれ謝辞を述べました。8月9日には、新たなALTとして着任した、シンプソン・トーマス・ジェームスさんとファンコイレン・セイカ・レベッカさんの2人に対する辞令交付式が行われました。トーマス先生は柳田小、小木小・中、松波小・中を担当し、セイカ先生は宇出津小、鶴川小、柳田中、能都中を担当します。

児童や高校生たちから入居者へ肩たたきのプレゼント



ケアハウス縄文 夏祭り 三代が集ってふれあい

7月29日、ケアハウス縄文で開催された夏祭りにこどもみらいセンターの児童や能登高校の生徒らが訪れ、入居者とふれあいました。

祭りでは児童による祭り太鼓やスイカ割りが行われたほか、会場に設けられたヨーヨー釣りや綿あめ、かき氷などの模擬店の店員を高校生が務め、祭りを盛り上げました。入居者は児童らの元気あふれる姿に目を細めていました。

スマート農業始動 就農者育成にICT活用

新規就農者への栽培ノウハウの提供や作業の効率化につなげようとJA内浦町と能登町は、内浦長尾のビニールハウスに農作物の栽培環境に関するデータ計測用のICT機器を導入しました。

ベテラン農家の経験や勘頼りだった栽培技術を数値やデータとして「見える化」し、若い担い手のスキル向上と品質向上に結び付けていく取り組みです。

JA内浦町の干場結城課長補佐は、「ICT機器で収集したデータを活用し、数値を基に栽培に適した環境を整えることができれば、若手農家でも品質の高い農産物の栽培が可能になる」と述べ、横浜市から内浦長尾に移住して就農した大山直美さんは、「ベテラン農家のハウス管理を、データとして参考にできるのは心強い」と話しました。



ICT機器が計測した情報はタブレット端末で確認できる



ICT機器の使い方
を学ぶ大山さん夫妻

当目地区の顕彰会 終戦の日を前に 白洲大尉の顕彰碑を清掃

太平洋戦争中に戦艦大和に乗艦し、21歳で戦死した白洲磐大尉をしのぶ白洲大尉顕彰会は8月3日、当目地内に立つ顕彰碑を清掃しました。

会員約10人が、碑の周辺の雑草を刈払機で刈り取り、碑を雑巾やデッキブラシで磨きました。同会は毎年、大尉の遺徳をしのんで訪れる人のため、終戦の日の直前に清掃作業を行っています。碑は平成21年、大尉の父・清忠氏の生家の前に建立されました。



白洲大尉の顕彰碑を清掃する会員

太鼓に合わせ元気な掛け声で練り歩きました



ひばり・しらさぎ保育所合同おまつりごっこ 地域の伝統文化に触れる

7月12日、宇出津港いやさか広場でひばり・しらさぎ保育所合同のおまつりごっこが行われました。

園児らは、太鼓としゃぎりの祭り囃子が響く中、威勢よく掛け声をあげ、手作りのキリコや神輿を担ぎ練り歩きました。松明の周りを乱舞したり、あばれ神輿を地面にたたきつけたりとその様子はまさに祭りさながらでした。会場には法被姿の可愛い園児らを目みようと多くの保護者が見守っていました。